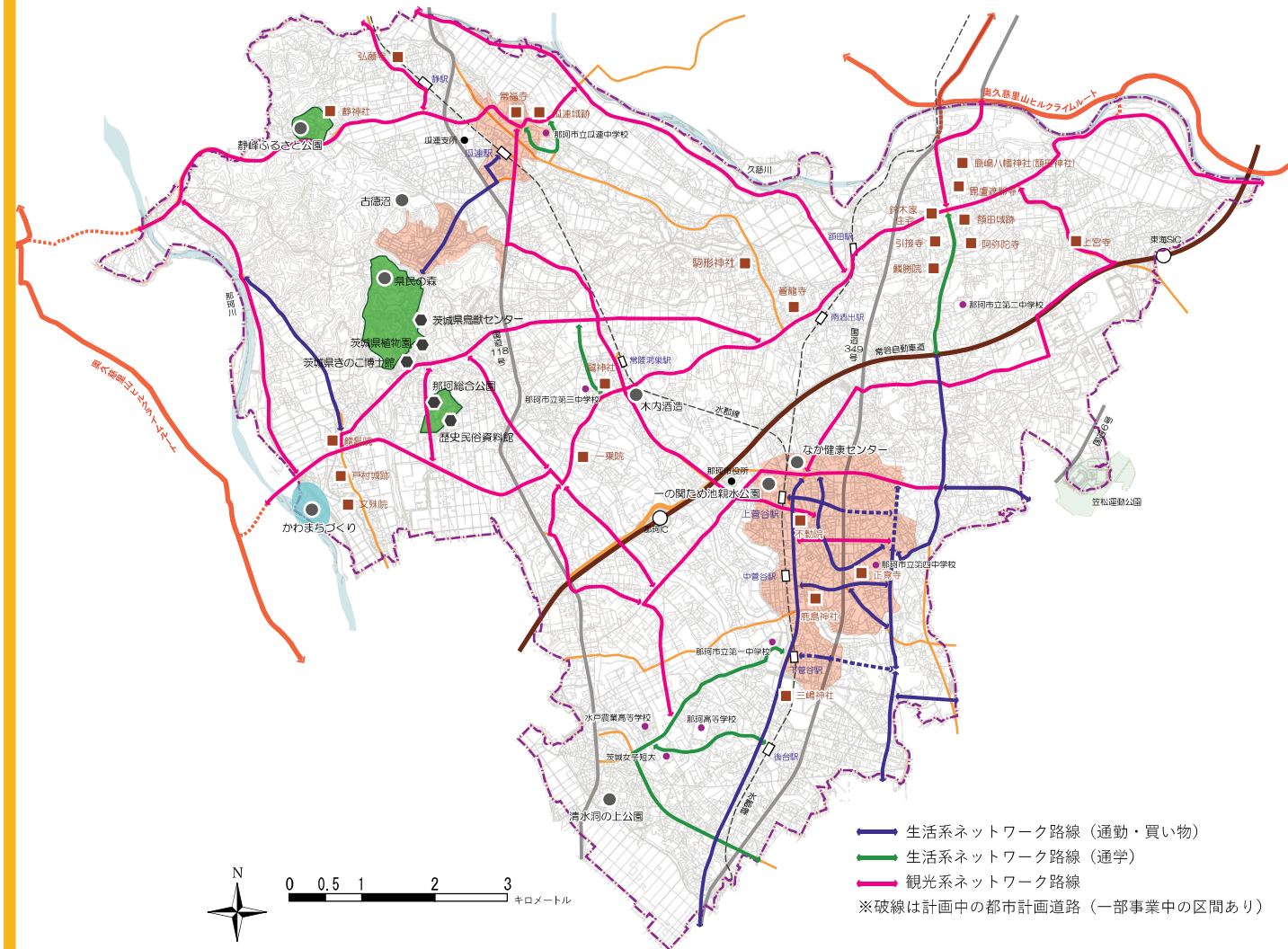


4 那珂市自転車ネットワーク計画



安全で快適な自転車通行空間を効果的・効率的に整備することを目的として、優先的に整備する路線を自転車ネットワーク路線として以下のとおり選定し、その路線のハード整備の具体的な方針を定めます。



■ネットワーク路線の整備方針

自転車ネットワーク路線の整備については、既設の道路空間を活用した整備形態を基本とし、自転車が安全で快適に通行できるよう自転車の通行位置を路面に明示するなど、利用者に分かりやすい整備を進めます。

また、今後整備予定の道路については、自動車と自転車が安全な走行環境を共存できるよう路肩の幅員を十分確保した整備を推進します。



矢羽根・路面表示の例



ピクトグラム
の例



那珂市自転車活用推進計画【概要版】

市民が自転車をたのしみ、サイクリストを迎える“ハートのまち”

Go! いい那珂サイクル



1 計画策定の背景と目的

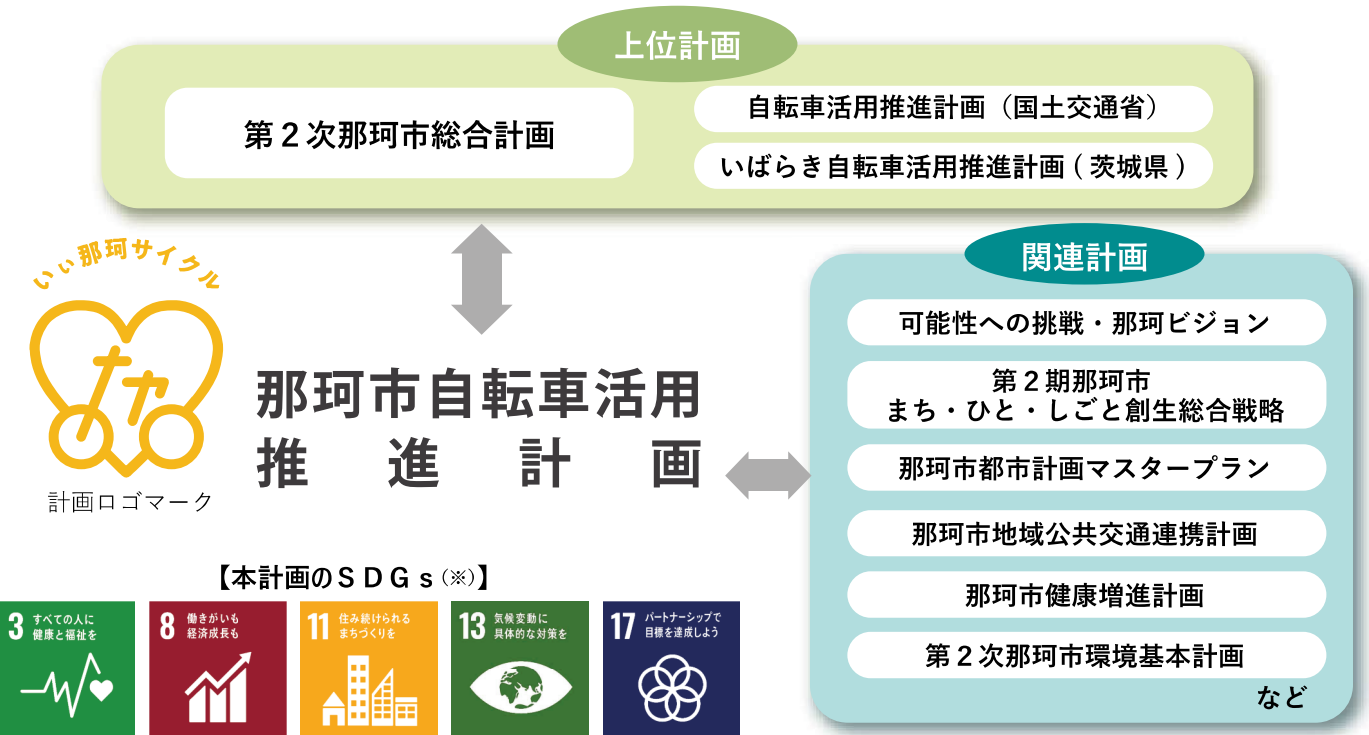
近年、環境や健康意識の高まりとともに、自転車利用者は年々増加傾向にあります。加えて、自転車を活用して地域を巡り、地域の様々な資源と結びつけ、その魅力を体験するサイクルツーリズムを通じた地方創生の取組みも活発化してきています。

市ではこうした流れを的確に捉え、自転車活用の有用性等を広く市民の皆様の暮らしの中で浸透させつつ、安全で快適な自転車利用の環境整備を進め、サイクルツーリズムの推進による交流人口の増加や地域の活性化を図るため、「那珂市自転車活用推進計画」を策定します。

■計画区域：市内全域

■計画期間：令和2年度～令和11年度

2 計画の位置づけ



(※)「SDGs (持続可能な開発目標)」とは、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を目指して、経済・社会・環境を巡る広範な課題に統合的に取り組むものであり、「すべての人に健康と福祉を」、「働きがいも、経済成長も」、「住み続けられるまちづくりを」などの17の目標と、これを達成するための169のターゲットを掲げている。

3 自転車活用推進に向けた基本方針・具体的な施策

【基本理念】

市民が自転車をたのしみ、サイクリストを迎える“ハートのまち”
～自転車で創る“いい那珂暮らしと、あたたかい交流”のまちづくり～

基本方針

1 自転車にやさしい空間で楽しく乗ろう

【ハード施策】

【基本方針に係る SDGs】



- ・歩行者、自転車、自動車が安全で快適に通行できる環境の整備を推進します。
- ・誰もが気軽に便利に自転車を利用できる環境の整備を推進します。
- ・自転車ネットワーク路線について、関係機関と連携を図り計画的に整備を推進します。

●目標値 自転車ネットワーク路線整備延長
現状値：0 km（令和2年） → 目標値：62.5km（令和11年）

基本方針

2 交通ルールを守ってみんなで安全に乗ろう

【市民向けのソフト施策】

【基本方針に係る SDGs】



- ・子供から高齢者まで自転車を安心、安全に利用できるよう交通安全対策を実施するとともに、ルール遵守の徹底等自転車利用に関する啓発を推進します。
- ・自転車の価値を再認識し、自動車に頼らない、健康的で環境にやさしい地域づくりに向けた取組みとして自転車活用を推進します。

●目標値 市民の日常生活における自転車利用率
現状値：19.5%（令和元年） → 目標値：30.0%（令和11年）
●目標値 自転車関連交通事故件数
現状値：18件（平成30年） → 目標値：0件（令和11年）

基本方針

3 交流とおもてなしで地域を盛り上げよう

【サイクルツーリズム施策】

【基本方針に係る SDGs】



- ・自転車をコミュニケーションツールとして、市民と来訪者が交流するまちづくりを推進します。
- ・自転車と地域資源を結びつけるストーリー性のあるコース設定、イベントの開催等により、サイクリングによる交流人口の創出を図ります。
- ・“ハートのまち（那珂市）”の魅力を発信し、市民の地域への愛着を育むことにより、観光客の誘致と地域の活性化を目指します。
- ・市民自らが市内サイクリングを楽しむことで、自転車ならではの地域の魅力を発見し、域内観光や市民同士の交流を促進します。

●目標値 本市におけるサイクリングイベント参加者数
現状値：169人（令和元年） → 目標値：500人（令和11年）
●目標値 市内協力店舗等の数
現状値：0店（令和2年） → 目標値：50箇所（令和11年）

いい那珂サイクル



【施策の体系】

<基本方針>

<施策>

<主な取組み>

1 自転車にやさしい空間で楽しく乗ろう

① 自転車利用環境の計画的な整備

- 路肩等の幅員を十分に確保した道路整備（矢羽根を表示）
- 案内看板等の整備
- 自転車走行環境の適切な維持管理
- サイクルサポートステーションの確保と整備

② 通学路における交通安全の確保

- 関係機関との連携による定期的な安全点検の実施
- 危険箇所の改修・改善
- 通学路安全マップの作成

③ 公共交通機関との連携

- シェアサイクルの導入検討
- 駐輪環境の整備・充実
- 放置自転車の撤去及び活用検討

2 交通ルールを守ってみんなで安全に乗ろう

④ 交通安全意識の醸成

- 世代ごとの特性に応じた交通安全教室等の開催
- 未就学児に対する交通安全教育の実施
- 交通ルールの遵守に向けた啓発
- 自動車のドライバーに対する「思いやり運転」の周知啓発

⑤ 自転車を安全に利用するための啓発

- 自転車点検整備講習の開催
- 自転車損害賠償保険の加入促進
- ヘルメット購入補助の検討

⑥ 交通手段としての自転車活用の推進

- 自転車通勤及び通学の促進
- 市役所における自転車通勤制度の導入検討
- 市民自転車デー（ウィーク）の検討

⑦ 自転車活用による健康増進の啓発

- 健康づくりサイクリングイベントの開催
- 電動アシスト自転車等の普及推進
- 健康効果や楽しみ方等の情報発信

3 交流とおもてなしで地域を盛り上げよう

⑧ サイクリストに対するおもてなしの充実

- 自転車活用拠点の確保等
- 案内サインの設置
- サポートライダーの確保・育成
- サイクリストにやさしい協力店舗等の確保
- 市内飲食店と連携したグルメ開発

⑨ サイクルツーリズムによる地域の活性化

- 地域資源を活かした周遊サイクリングルートの構築
- 市民と連携したサイクリングイベントの開催
- 広域サイクリングルートとの連携
- ポタリングの推進

⑩ 効果的なプロモーション活動の実施

- ウェブやSNS、雑誌等様々な媒体を活用した情報発信
- サイクリングマップの作成
- 民間事業者や各種メディア等との連携